

令和7年度LINE WORKS運用の見直しおよび安否確認システムの導入について

1 背景

- ・ LINE WORKS（チャットシステム）は、災害時医療救護体制の関係者との情報連絡ツールであり、災害医療運営連絡会での検討を経て、令和4年度から運用を開始した。
- ・ 約3年間の試行期間で、災害時を想定した情報連絡におけるチャットシステムの有用性を確認した。

2 令和7年度以降の整理

- ・ 災害時医療救護体制における情報連絡ツールとして、令和7年度以降もチャットシステムを継続運用する。
- ・ 一部の利用者については、利用目的により適合する専用システムがあるため、該当者は専用システムへ移行する。

利用者属性

利用目的

医療救護所参集者

安否確認

▶ 安否確認専用システム
へ移行

※令和7年9月～

LINE WORKS
利用者

災害時医療機関
協定団体
医療救護所

施設被害状況報告
(災害時医療機関を除く)

一斉連絡
(国・都通知の共有など)

個別連絡
(患者受入調整・物資要請など)

映像を使った状況共有
(WEB会議・ビデオ通話)

▶ LINE WORKS
を継続